

監査結果に係る措置通知書

ガス局	
監 査 結 果 (指 摘 事 項)	改 善 措 置
(1) 設計金額の算定について 土木工事標準積算基準書(宮城県土木部)では、設計書の作成にあたり、施工条件等に十分留意し、工法歩掛及び単価などについて、明確に作成しなければならないとされている。 ところが、ガス局建設課では、台原三丁目4号線外ガス低圧支管入替工事において、誤った工法歩掛、単価及び数量を基に積算をしていたため、設計金額が過大に算定されていた。 設計金額の算定にあたっては、関係規程に則り、適正に行う必要がある。	積算業務のチェック体制を強化するため、コンクリート破砕に係る数量のチェックシートを係長専用として新たに作成し、担当者とは異なるツールでチェックを行うこととした。 また、既存の「設計積算ミス防止チェックシート」にコンクリート破砕に係る工種選定、数量、単位についてのチェック項目を追加するとともに、「積算マニュアル」にコンクリートを破砕する際の工種選定に関する内容を追加した。 以上について課内周知するとともに、職員のスキルアップを図るため模擬設計の研修を実施した。 局内においては、工事関係部署に対し情報共有と注意喚起を図るため、再発防止策について周知を行った。 課内周知日 令和7年3月26日 課内研修実施日 令和7年4月30日 局内周知日 令和7年5月12日